



実践皮膚病理診断

■新井栄一/土田哲也・著

評者 島田眞路
山梨大学学長

この度、「実践皮膚病理診断」が出版される運びとなり、心からお祝い申し上げます。

本書は、皮膚病理学の権威、埼玉医科大学国際医療センター病理診断部部長の新井栄一教授と、臨床皮膚科学領域の自他ともに認める第一人者、埼玉医科大学皮膚科教授の土田哲也先生の絶妙の共同執筆による待望の皮膚病理学教科書である。

本書の特徴を3つあげたい。

第一に全体的な構成に関して、特に炎症性皮膚疾患に関してはパターン認識を取り入れた構成になっている。私は米国 NIH への留学経験があるが、米国では当時（30 数年前）よりこのような形式で皮膚病理を系統的に学ぶようなシステムとなっていた。日本と異なり「皮膚病理専門医」として皮膚科、病理科とは独立した専門医が認められており、系統的学習方法があった。故 Ackerman 教授の炎症性皮膚疾患に関する著書もそのように執筆されている。また皮膚病理の開業医も存在し、NIH 皮膚科では開業医が皮膚病理を教えていた。

私の恩師 Stephen I. Katz 博士 (NIAMS 所長) もわれわれと一緒に学んでいたのを思い出す。このように開業医といえども相当な見識をもっているのを身をもって経験することができた。本書ではこの形式、学習方法を取り入れており、わが国の皮膚病理学のシステムの学習方法に一石を投じているものと思われる。

第二には、新井教授は皮膚科領域ではもっとも診断が難しい皮膚リンパ腫の専門家であり、日本皮膚悪性腫瘍学会のリンパ腫領域のシンポジウムや CPC のアドバイザーを長年にわたって務められている。われわれリンパ腫に興味のあ

る皮膚科医も随分と教えていただき感謝している。本書では各疾患のポイントについて明確に非常にわかりやすく説明されており、大変勉強になる。

第三には、近年皮膚の軟部組織腫瘍の分類もかなり細分化され、かつての皮膚科学の教科書には記載のなかった疾患についても皮膚科医は学習する必要がある。本書では low grade myofibroblastic sarcoma や low grade fibromyxoid sarcoma など解説されており、非常に有用である。

本書は美しい臨床写真と病理組織写真が対になって眺められるよう工夫されており、楽しく学習できるように構成されている優れた教科書である。初学者から熟練医師まで座右に置きたい一冊と考える。



B5 判・404 頁・4 色刷
定価 16,200 円
(本体 15,000 円)
金原出版
2017 年 6 月 5 日発行